第三十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案（關稅定率法中改正法律案（政府提出））委員會議錄（速記）第五回

會議

大正三年三月三日午後一時三十三分開議

出席委員左ノ如シ

板東　勘五郎君　　丸尾　光春君　　吉原　祐太郎君
有森　新吉君　　加賀　卯之吉君　　木村　艮君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官　勝田　主計君　　大藏省主稅局長　菅原　通敬君
大藏書記官　今村　次吉君

二月二十六日左ノ議案ノ審査ヲ本委員會ニ附託セラレタリ

關稅定率法中改正法律案（政府提出）

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案（政府提出）

○委員長（板東勘五郎君）　開會致シマス、質問ノ順序ハ以前參考書デ參リマシタカラ其方ガ宜イト思ヒマス――參考書ノ百十四「パラフインワックス」質問ガアリマスレバ此順序ヲ追ッテヤッテ行キマセウ

○木村艮君　此前ニ「パラフインワックス」ノコトデマダ少シ分リ兼ネタカト存ジマスガ、四十五度ヲ越シタモノ即チ四十五度以上ノモノハ燐寸業ニ關係ガアルノカナイノカ、アルケレドモ木蠟業ニ影響スルカラ其處マデハ行カヌノデアルカト云フ點ニ付テ、モウ少シ明瞭ヲ缺イタヤウニ存ジマスガ、極ク簡單ニ四十五度以上ノモノハ燐寸業ニハ關係ガナイカラ、其必要無シト云フノデアルカ、關係ハアルケレドモ木蠟トノ衝突ヲ避ケルガタメニ、此程度ニ置イタノデアルカ、承ッテ置キタイ

○政府委員（菅原通敬君）　四十五度以上ノ「パラフインワックス」ガ、全ク燐寸業ニハ關係ガナイトハ申サヌノデアリマス、ドウ云ノ點ニ影響ガアルノデアルカト云フト、四十五度以上ノ「パラフインワックス」ヲ使フモノハ御承知ノ蠟燐寸、アレニ用井ルノデアリマシテ、其以外普通ノ燐寸ニハ四十五度以上ノモノヲ用井ルト云フヤウナコトハナイノデアリマス、而シテ蠟燐寸ノ如キハ普通ノ燐寸ニ比較シマスルト、其數量ノ上カラ申シマシテモ殆ド比較ニナラヌヤウナ少量ノモノデアリマシテ、外國ニ出スニ致シマシテモ、サウ重要ノ物產トナッテ居ル譯デモナイノデアリマシテ、是ハ一方ノ木蠟業トノ關係カラ見テ四十五度位ニ止メテ、多少蠟燐寸ノ方ニ影響アルニ致シマシタトコロガ、其邊デ切ルト云フコトガ相當ナ程度デアルト云フコトニ考ヘテ居ルノデアリマス

○委員長（板東勘五郎君）　次ハ百五十黃燐赤燐――御質疑ガナケレバ二百四十五金液、銀液白金液

○丸尾光春君　是ハ金液、銀液、白金液ハ合シテ一年ニドレ位輸入シテ居リマスカ

（「參考書ノ先キニアル」ト呼フ者アリ）

○委員長（板東勘五郎君）　御質疑ガナケレバ二百八十三、毛織糸――二百九十四綿粉、御質疑ハゴザイマセヌカ――ソレデハ二百九十八綿織物ノ中ニ云々ト云フ部――二百九十九亞麻、苧麻「ラミー」――ソレカラ三百鳳梨葛「マニラヘムプ」――次ノ三百二十八ノ二瓦斯塡充用囊

○加賀卯之吉君　此瓦斯塡充用囊ハ內地デハ出來ヌモノデスカ

○政府委員（菅原通敬君）　是ハ內地デハ出來ヌノデゴザイマス

○加賀卯之吉君　輸入スルカラ稅ヲ引下ゲル譯ニナリマスナ

○政府委員（菅原通敬君）　左樣デゴザイマス

○委員長（板東勘五郎君）　四百七「メタルポソシュ」ソレカラ四百八、四百十八、四百八十五ノ二、五百二十七、六百五、六百十七

○加賀卯之吉君　政府委員ニ御尋致シマスガ、私共ハ分ラヌガ總テ此輸入シテ來ル總テノ生產ノ原料ニナルモノトカ、或ハ時計ノ器械デアルトカ、ソレカラ肥料デアルトカ、斯ウ云フモノハ此御改正ニナルト云フ意味ハ內地デ出來ルモノデアレバソレハ皆權衡ヲ取ルヤウニシナケレバイカヌト云フ方針デアッテ、內地デ出來ナイモノハ課稅ハ高クシテアッテモ、內地ノモノヲ保護スルト云フ意味デ出來居ルノデアルカ、ソレカラ肥料ノ如キハ內地ノモノニハ影響スルモノデハナイト云フ、サウ云フ意味デ出來テ居リマスカ、ソレヲケ承レバ私ハ質問スルコトハナイノデアリマス

○政府委員（菅原通敬君）　御尋ニナリマス通リノ次第デアリマス

○丸尾光春君　チヨット政府委員ニ伺ヒマスガ、此十六七ノ今度提案ニナリマシタ改正デアリマスガ、之ヲ通シテ日本ノ收入ニハドノ位增減ガアリマスカ、殖エテ參リマスカ

○政府委員（菅原通敬君）　是ハ收入ノ見積リヲ立テマスコトハ頗ル困難デゴザイマスル、何トナレバ之ヲ減稅致シマスガタメニ、更ニ輸入ノ增加ヲ來スト云フヤウナ多ク品物ニ屬シテ居ルノデアリマスカラ、其增加シテ來ル割合ト云フモノハ、ドウ云フヤウニ見ルガ相當デアルカ、其見込ヲ付ケルコトガ稍ゝ困難デゴザイマス、併ナガラ大體觀察致シマシテ各品目ニ付テ計算シタ其結果ニ付テ申シマスト云フト、約四萬圓バカリノ關稅收入ノ減額ヲ見ルコトニナリマス

○吉原祐太郎君　シマスルト四百六十二號ニ當リマス、其十二項ノ鐵管デゴザイマスルガ、廉イタメニ阻害ヲシテ居ル、斯ウ云フヤウナ嫌ハナイノデアリマスルカ

○政府委員（菅原通敬君）　唯今ノ御尋ハ此第四百六十二號ノ中ノ第十二項ノ……

○吉原祐太郎君　「甲ノ二ノ八ノ中ニ屬スルモノ其ノ他」ト申シマス……

○政府委員（菅原通敬君）　此鐵管ニ付キマシテハ內地ノ工業ヲ保護スル ト云フコトヲ考フルト同時ニ、內地ノ需用ニ不便ヲ與ヘザルコトヲ考ヘ、此二ツノ點ヲ考ヘテ稅率ヲ定メラレテ居ルノデアリマシテ　、內地ノ工業ヲ保護スルタメニト致シマシテハ、內地ニ於テ製造ノ出來ル品物ニ付テハ一割ノ課稅ヲ爲シ、內地ニ於テ生產ナクシテ外國ヨリ輸入ヲ仰ガナケレバナラナイト云フモノニ付キマシテハ、ソレヲ需用スル者ノ便宜ヲ圖ッテ一割五分ノ稅率ニ致シテ居ルノデアリマス、今御引用ニナリマシタ「甲ノ二ノ八ノ其他ノモノ」ト云ヒ中ニハ「近來內地ニ於テ製造スルモノヲ新ニ生ズルコトニナリ來ッテ居ルノデアリマス、ソレハドウ云フモノヲ申スカト申シマスト云フト、所謂「マンネスマン」ノ方法ニ依ルトコロノ鐵管ト云フモノデアリマシテ、ソレハ從前ニ於テハ內地ニ於テ全ク生產セラレズニアッタノデアリマス、故ニ外國ヨリ之ヲ輸入シテ使用スル者ノ利益ノタメニ一割五分ト云フ割合ニ低キ稅率ヲ課シテ居ッタノデアリマスルガ、前ニモ申シマシタ通リ近來內地ニ於テ是等ノ鐵管ヲ製造スル工業ヲ始メタル向キガアルノデゴザイマス、既ニ其事業ニ着手シ將來ニ於ケル計畫モ略ゞ定ッテ居ルモノ、如クアリマス、併ナガラ未ダ今日ノ場合ニ於テ果シテ其計畫通リノ、又豫定通リノ製造ヲ爲シ得ルヤ否ヤト云フコトノ確認ハ政府ト致シマシテハ此法案ヲ提出致シマスマデニ決スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、若シ此事業ニシテ豫定ノ通リ計畫ノ通リ進行シマシテ、而シテ「マンネスマン」ナルモノ、鐵管ノ製造ガ出來ルト云フコトニナリマスナラバ、外國品ニ對スル日本品ノ保護トシテ相當ノ稅率ニ之ヲ引直スト云フコトノ必要ヲ生ジテ參ラウト思ッテ居ルノデアリマス、尙ホ詳シキコトハ進ンデ御尋ニ應ジテ御答致シマスガ、大體左樣ナコトデゴザイマス

○吉原祐太郎君　今デハ十分ニ型ノ小サナモノハ出來テ居ルト思ヒマス、ケレドモマダ政府デハ出來ヌト云フノデゴザイマスカ

○政府委員（菅原通敬君）　御說ノ通リ六吋以下トカ云フヤウナ細イモノハ、製造ハ、爲得ルコトニナッテ居ルサウデゴザイマスケレドモ、未ダソレヲ以テ一般ノ需要ヲ充タスダケ十分ナル設備モ出來ズ、計畫モ熟シテ居ラヌカヤウニ承知致シテ居リマス

○委員長（板東勘五郎君）　チョット御尋致シマスガ、此現行法デ「抽キタルモノ」ト「鑄タルモノ」トアル「抽キタルモノ」ガ繼目ノナイモノハ、如クデアル、サウスルト「マンネスマン」ト云フモノガ「抽キタルモノ」ノ中ニ這入ッテ、サウシテ二割三分ノ課稅ヲ受ケル中ニ這入ルノデアリマスカ、又「其他」ト云フ所デアリマスカ

○政府委員（菅原通敬君）　其分類ノ仕方ニナリマスト餘程是ハ技術的ニ考ヘナケレバナラヌノデアリマスガ、繼目ノナイト云フモノハ「抽キタルモノ」ト「抽カサルモノ」トノ兩方ニアルコトニ承知シテ居リマス、卽チ繼目ノナキ鐵管ハ「其他」ノ方ニモ這入ルモノガアルト承知シテ居リマス

○委員長（板東勘五郎君）　今吉原君ノ御質問ニ付テモ私共當業者カラ段々聽取リマシタノデ、現ニ川崎デ鋼鐵ノ鐵管ヲ會社ガ造リマシテ、目的ハ一万五千噸ト云フモノデアッテ、既ニ五千噸バカリノ一箇年ニ「マンネスマン」ノ製造ガ爲得ルダケノ功績ヲ事實ニ於テ擧ゲテ居ル、サウスルト現在ノ「其ノ他」ト云フモノデ支配シマスト、繼目ノアルモノト繼目ノナイモノト從價ニシテ見ルト非常ナ違ヒノアルモノガ、之ヲ一括シテ百斤ニ付テ一圓十錢ト云フコトニナッテ居ル、ドウシテモ從價ノ方カラ割出スト、繼目ノアルモノト繼目ノナイモノトハ段差ヲ付ケナカッタコトニ理窟ガナル、況ヤ「マンネスマン」ノ製造ト云フモノハ既ニ功績ヲ擧ゲテ居ル、故ニ當業者保護ノ爲メニ「其ノ他」ト云フ八ノ中ニ一二ヲ別ケテ、繼目ナキモノニシテ內徑ノ十六「センチメートル」ヲ超サヾルモノト云フノト「其ノ他」ト云フノト別ケテ改正ヲシタイト云フ希望ヲ有ッテ居リマス、私共トシテハ素ト デアリマスケレドモ、聞ク所ニ依リマスレバ理窟ノアルヤウニ見エル、ソレト先刻御答ニナリマシタナカ〳〵內地ノ產業デ輸入ノ額ニ合ハナイト云フ御說明ガアリマシタガ、總テ四万五千噸バカリ要ッテ居ル、然ルニ繼目ノナイモノハ凡ソ其一部タル四千噸カ五千噸カ要ッテ居リマセヌケレドモ、四千噸ハ殆ド內地ノ產出額デ輸入ヲ防グコトガ出來ルダケノ分量ニナッテ居ル、斯ウ云フコトデアルカラ、ソレト併セテ伺ヒタイ

○政府委員（菅原通敬君）　今御尋ニナリマシタ第一ノ點ノ稅率ニ等差ヲ設ケルト云フコトハ、是ハ御考ノ通リ相當ノ理由ガアルト思ヒマス、第二ノ點ノ內地ニ於テ需要スルダケノ鐵管ノ製造ガ內地ニ於テ生產セラルベキ見込ニナッテ居ル サウデアルガ、ソレハドウデアルカト云フ御尋デアリマスガ「マンネスマン」ノ鐵管ノ「抽カサルモノ」ノ輸入額ハ二千九百二十八噸アルノデアリマス、ソレデ今現ニ計畫サレテ居ル會社ノ事業ハ年ニ一万五千噸ヲ產出スルノ豫定デアルカノヤウニ聞イテ居リマス、ソレデアリマスカラ若シ其全能力ヲ働カシテ、ソレダケノ製造ガ出來ルト云フコトニナレバ、全ク輸入ヲ仰ガズシテ出來ルト云フコトニナリマス、ケレドモ目下ニ於テハ每日十噸位ノ製造ニ止マッテ居ルノダサウデアリマス、其十噸ヲ以テ一年ノ三百六十五日ニ割當マスルト、三千六百五十噸シカ出來ヌコトニナルノデアリマシテ、或ハ多少外國ヨリ輸入ヲ仰ガナケレバナラヌコトニモナルカモ知ラヌノデアリマス、ケレドモ會社ノ事業ノ如キ今日ノ儘デ長ク居ルト云フ見込ヲ付ケルト云フコトハ無理デアラウト思ヒマスルシ、ツマリ段々製造力モ增シテ來ルノデアリマセウカラ、三千九百三十八噸ノ供給ヲバ餘リ遠カラザル中ニ爲シ得ル域ニ進ムダラウト思ヒマス

○丸尾光春君　議題外デスガ關稅ニ關係ガアルカラチョット伺ヒタイ、此關稅ヲ改正サルニ付テハ、今度提案ニナッタモノバカリデハナイ、尙際限ナク改正ヲ要スルモノガアラウト思ヒマスガ、小サイ問題デハアリマスケレドモ 私ハ此日本ノ「バタ」「チース」「ミルク」ニ對スル關稅ヲ出來得ルナラ改正シテ、內地品ヲ保護シテ貰ヒタイ、現ニ北海道デハ現在「バタ」ガ二万斤出來テ、二万斤ダケハ賣レ途モ付クガ一万斤ハ殘ル、然ルニ尙五万斤マデハ造リ出ス力ヲ持ッテ居ル、其他各府縣ニモ「バタ」ノ製造ハ漸次發展シテ來タ折柄デアリマシテ、殊ニ「ミルク」ノ如キ外國品ヲ仰グコトノ多イノハ、ツマリ關稅ヲ現在ノ儘ニ——卽チ「ミルク」ハ百斤ニ付テ五圓五十錢カ、此稅ヲモウ少シ上ゲテ貰ハヌト內地品ガ負ケル結果、內地デ「ミルク」「バタ」「チース」ノ生產額ヲ增スト云フ域ニ進マヌノデアリマスカラ、若シ政府ガ御同意デアレバ此際「バタ」「ミルク」「チース」ノ二品ニ付テ關稅ヲ引上ゲテ戴クト、卽チ日本ノ畜牛ノ奬勵生產ノ奬勵ニモナラウト思ヒマスガ如何デセウ

○政府委員（菅原通敬君）　此「バタ」「チース」「コンデンスミルク」等ニ付テ現在ノ稅率ガ內地產業保護ノ上ニ於テ尙低キニ過ルカラ、之ヲ高メルコトニシタイ、ソレニ對スル意見ヲトト云フコトデアリマスガ、其中殊ニ此今日マデイロ〳〵ナ沿革ヲ持ッテ居ルトコロノ「コン

デンスミルク」ニ付テ御話ヲ申スト、以前ニハ御承知ノ通リ協定税率ニナッテ居ッタノデ、其爲メニ内地ノ「ミルク」事業ガ起リ得ナイト云フトコロカラ、何カ協定税率ニ代ルベキ内地産業保護ノ方法ヲ設ケテ貰ヒタイト云フコトデ、御承知ノ通リ砂糖ノ戻税ト云フモノヲ與ヘテ、サウシテ之ニ依ッテ内地ノ「ミルク」事業ノ奬勵ニ便宜シタ譯デアッタノデアリマス、所ガ其當時ニ於テモ之ニ付テ頗ル議論ノアッタコトデアリマス、内地ノ「ミルク」事業ガ果シテ十分ニ發達ノ見込ガアルモノデアルヤ否ヤ、砂糖税ヲ戻スト云フ位ノコトデ以テ内位ノ「ミルク」事業ガ十分ニ發達シテ、而シテ外國ヨリ來ルトコロノ「ミルク」ニ對抗スルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、餘程廣ク各種ノ人ニ依ッテ研究セラレタ問題デアッタノデアリマス、ソレニ付テハ隨分消極的ノ論ヲ唱ヘル人モアッタノデアリマスガ、兎ニ角一ツヤラセテ見ルモ宜カラウト云フヤウナトコロカラ、砂糖ノ戻税ヲ與ヘルコトニナッタノデアリマス、所ガ其後愈々關税ヲ改正シ、前ノ協定税率ヲ廢シテ新ナル國定税率ヲ作ルト云フ場合ニナッテ、政府案トシテハ之ニ對シテ四割ノ税率ヲ配シテ百斤ニ付テ拾壹圓拾錢ノ税率ト爲スト同時ニ、砂糖ニ對スル戻税ヲ廢止シヤウト云フ方針ヲ取ッタノデアリマス、所ガ段々御議論ノ末、砂糖ノ戻税ハヤハリ從來ノ通リ繼續シテ貰ヒタイ、同時ニ外國カラ來ルモノニ對シテ輸入税ヲ二割ニ引下ケテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナ論ニナッタノデアリマス、ソレハ何デアルカト云フト外國カラ來ルモノニ付テ餘リ高イ税ヲ課スルト云フコトニナルト、内地ノ「コンデンスミルク」ノ消費者ハ非常ニ重キ負擔ヲスルコトニナル、ソレデ外國カラ來ルモノニ對シテハ二割位ノ税率ニ引下ゲテ、一般需用者ノ負擔ヲ餘リ高カラシメナイト同時ニ、一方ノ砂糖ノ戻税ヲ從來ノ通リ繼續シテ、サウシテ内地ノ「コンデンスミルク」ノ製造者ニ保護ヲ與ヘヤウ、斯ウ云フコトカラ來ッテ居ルノデアリマス、ソレデ今日ニ於テハ此「コンデンスミルク」ノ製造業者ト云フモノハ、餘程厚キ保護ノ下ニ立テ居ルノデアルカラ、此以上之ヲ保護スルコトニ致シマシタトコロガ、果シテ亞米利加ニ於テ極メテ廉ク出來ルトコロノ「コンデスミルク」ニ對抗スルダケノ、立派ナ精良ナルモノヲ造リ得ルカドウカト云フコトニナリマスト云フト、餘程考ヘナケレバナラヌ點デハナイカト思フノデアリマス、勿論保護ヲスレバ保護ヲスルダケ、其製造スル者ノ爲ニハ利益ニ違ヒアリマセヌケレドモ、又一方ニハ之ヲ消費スル者ノ側カラ考ヘテ見ナケレバナラヌ「コンデンスミルク」ノ如ク、廣イ各種ノ人々ニ用井ラレ、子供ノ哺育ニモ用井ラレルト云フヤウナ力〳〵重要ナ滋養物ニ屬シテ居リマスカラ、之ニ對シテヨリ以上ノ税率ヲ高メテ、サウシテ消費者ノ負擔ヲ增スト云フコトハ餘程考ヘナケレバナラヌコトデアリマシテ、直チニ今御話ニナリマシタ御意見ニ御同意スル譯ニハ參ラヌノデアリマス

○委員長（板東勘五郎君）　今度改正案ノ骨炭ト云フモノニ改正ヲ加ヘラレテ居リマスガ、此篩ヲ濾シマシタ以外ノ此處ニ現物ガアル殘滓ト云フモノハ、申セバ肥料ニナル、其肥料ニナルモノハ無税ニナルベキカ、又殘滓ト云フモノハ改正ノトコロニ其文字ヲ挿入シテ、同時ニ其税金ハ無税ニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フヤウナ説ガアルノデスガドウデスカ

○政府委員（菅原通敬君）　是ハ何處カラドウ云フ風ニ這入ル品物デゴザイマスカ

○委員長（板東勘五郎君）　ソレハドウモチヨット御答ガ甚ダ困リマスガ兎ニ角骨炭ヲ輸入シマスル際ニサウ云フモノガ入ッテ來ル、篩ニ掛ケヌモノト別ニ

○政府委員（菅原通敬君）　是ハ斯ウ云フノデハナイノデゴザイマセウカ、御承知ノ通リ此骨炭ヲ製糖用ニ使ヒマスト云フト、度々燒直シヲシナケレバナリマセヌ、其燒直シヲスル時ニ其邊ニ散ジタル物ヲバ掃寄セテ、此樣ナモノヲ得ルノデヤナイカトモ見エルノデアリマス、是ハ所謂殘滓ト稱ヘテ居リマスガ、骨炭ニ砂ナリ土ナリト云フモノガ混合シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フモノデアリマスルト其砂ナリ土ナリノ混合シテ居ル狀態ニ依ッテ、若シ極ク僅カシカ混合シテ居ラヌモノデアルナラバ、ソレヲ篩分ケテ一方ハ砂一方ハ骨炭ト云フヤウニスル、若シ又ソレヲ篩分ケルコトガ却ッテ勞費ガ多クカヽルト云フコトデアルト、ソレヲ廢棄シテシマフ、或ハソレヲ肥料ニ供スルト云フコトニナラウト思ヒマス、故ニ是ハ税法ノ上ニハ殘滓デアルトカ何トカ云フヤウナ概括シタル名目ニ於テ無税トスルト云フコトハ、適用上甚ダ困難ヲ感ズルダラウト思フ、若シ實際ニ斯ウ云フヤウナモノガ這入ッテ來テ、サウシテ肥料ノ外ニハ他ニ用途ノナイモノデアルト云フモノデアレバ、現行ノ税率表ニ於テ肥料ト云フコトデ、直チニ無税デ入ルベキ途ガアルノデアリマス、特ニサウ云フヤウナ税率表ヲ設ケル必要ガナカラウト思ヒマス

○丸尾光春君　先刻私ガ二ツ質問シタ中デ「コンデンスミルク」ノコトニ付テ御答ガアリマシタガ、アトノ方ヲマダ伺ヒマセヌガ、此「バター」ハ非常ニ製造ガ容易イ、微々タル產額デハアルケレドモ、御注意下サレバ生產ガ增スノデアルカラ、此「バター」ニ付テ伺ヒタイノデス

○政府委員（菅原通敬君）　成程二ツノ問題ニ對シ單ニ一ツニ對シテ御答ヲ致シテアリマスガ、其一ヲ以テ他ノ方ハ御推理下サルコト、思ヒマスノデゴザイマスガ「バター」及「チース」ニ付テハ、御覽ノ通リ現行デハ四割ノ課税ニナッテ居リマス、恰モ「コンデンスミルク」ニ對シテ二割ノ課税ヲシ、更ニ砂糖ニ對シテ戻税スルモノト稍〻均衡ヲ保タレテ居リマス、ソレデ是等ノ食料品ニ對シテ四割以上更ニ高イコトノ課税致シマスト云フコトハ、一方内地ノ製造業者ニハ都合宜イニ違ヒアリマスマイガ、一般ノ消費者ハソレダケ高イモノヲ使用シナケレバナラヌノデアリマスカラ、ソコヲ大ニ考ヘナケレバナラヌノデハナイカ、四割ノ保護ト云フモノハ特別ナル品物ニ對シテハ姑ク措キマシテ、一般ノ品物ト致シマシテハ餘程高イ方ノ税率ニナッテ居リマス、此以上ノ增率ト云フコトハ餘程考慮ヲ要スベキモノデハナイカト考ヘマス

○委員長（板東勘五郎君）　今度改正ノ此菜子、芥子、是ハ一樣ナ種類ニナッテ居リマスガ、此胡麻ト云フモノカラモヤハリ製造シテ油ヲ製シ其滓ハ肥料ニスル、是ハヤハリ此芥子同樣ナ部分ニ挿入ヲシテ置キタイト云フ希望者モアルノデゴザイマスガ、是ハ餘リ今輸入ヲシテ居ナイ方デゴザイマスガ、途ガ開ケマシタナラバ輸入ガアルト思フ、支那アタリニハ餘程產額モ多シ、今度ノ改正デハ芥子ヲ入レマスガ、芥子ノ輸入分量ガゴザイマセヌガ、併セテ胡麻ヲ入レテハ差支マセウカドウカヲ伺ヒマス

○政府委員（菅原通敬君）　胡麻ニ對シテハ現行税率ガ每百斤一圓トナッテ居リマス、其一圓ノ課税ヲ致シマスト同時ニソレヲ原料トシテ油粕ヲ造リマスト云フト、ソレニ對シテハ二十一錢ノ戻税ヲ與ヘルコトニナッテ居リマス、油ニ對シテハ今日ノ所デハ戻税ニナッテ居ラヌノデアリマスガ、今回戻税ノ擴張ヲ致ス計畫ガアルノデ、其胡麻ノ油ニ對シテモ外國ニ輸出スルモノニ對シテハ、相當ノ戻税ヲスル考ヲ有ッテ居リマス、ソレニ依ッテ今ノ御希望ヲ滿タスコトガ出來ヤウカト思ヒマス

○委員長（板東勘五郎君）　如何デスカ政府提出案ニ付テハ御質問ハチョット是デ一段置イテ宜ウゴザイマスカ

○有森新吉君　此「ゼラチン」デアリマスガ、是ハ燐寸ノ材料ニ使フノデアリマスガ、此「ゼラチン」ハ戻税ニナサルト云フコトデゴザイマスカ

○政府委員（菅原通敬君）　戻税ノ方ニ考ヘテ居リマス

○委員長（板東勘五郎君）　戻税法案ハ御調ベ中デアリマスカ

○政府委員（菅原通敬君）　ソレハ勅令デ制定スルコトニナッテ居リマス、其方ニ於テ專ラ攻究中デアリマス

○委員長（板東勘五郎君）　政府提出案ニ付テハ一段ヲ置イタヤウデアリマス――御質問ハゴザイマセヌカ――ソレデハ加賀サンノ米ノ欄ニ移リマス、是ハ關直彥君外數名提出ノ米麥輸入ニ付テモ參考ノ爲メ御質問ニ……

○木村長君　私ハ仄カニ斯ウ云フコトヲ承リマシタガ、多分事實デハナカラウト存ジマスケレドモ、政府ノ所見ヲ伺ヒタイノデアリマス、ソレハ昨年鮮臺米――朝鮮及ビ臺灣ノ移入稅ノ廢止ニナリマシタニ付キマシテ、近頃外國米ガ朝鮮ニ入リマス、サウシテ朝鮮ノ人民ガ食ッテ朝鮮ノ米ヲ移出致シマシタナラバ、私共ハ農業政策ノ上カラ言ッテモ宜イコトヽ思ッテ居ッタ、然ルニ近頃朝鮮ニ五分ノ稅率デ入ッテ、其米ガ朝鮮カラ更ニ內地ニ無稅デ――昨年ノ結果デ無稅デ入ラントシテ居ルトカ、外國米ト朝鮮米ト混合シテ入ッテ來ルト云フコトヲ聞クノデアリマス、昨年朝鮮ノ移入米稅ヲ廢止スル時ニ、唯今申シタヤウナコトハ現物ニ依ッテ充分ノ識別ガ出來ルカラ、サウ云フ恐ハ絕無デアルト言ッタニモ拘ラズ、近頃サウ云フコトヲ耳ニ致シマスガ、單ニ風說ニ過ギヌデアリマセウカ、政府ハ此事ニ付キマシテハ御調ニナリマシタカ、何ニカ御調ニナッタ材料ガアリマスレバ此際承ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員（菅原通敬君）　今御話ニナリマシタヤウナ事實ニ付テハ何等見聞ハゴザイマセヌ、未ダ左樣ナ嫌疑ヲモ有ッテ居ラヌノデゴザイマスガ、併ナガラ是ハ私共ノ耳目ニ映ゼザルノミニシテ、アナタ方ノ方ニハ已ニ御承知ニナッテ居ルト致シマスレバ、吾々ノ甚ダ迂濶ナルコトヲ表白スルコトニナリマス、ケレドモ未ダ何等斯樣ナルコトヲ承知シテ居ラヌノデアリマス、昨年モ申シマシタ通リニ若シ左樣ナコトガアリマストト云フト、朝鮮米ヲ無稅トシタル趣旨ヲバ全ク沒却スルコトニナリマスカラ、左樣ナコトハ無カラン コトヲ充分ニ努メテ居リマスノデアリマス、朝鮮ヨリ米ヲ移出スル稅關ト、內地ニ米ヲ輸入スル稅關トハ相當ノ聯絡ヲ保タレテ居リマスシ、其米ノ檢査ニ付キマシテハ一ト通リ嚴重ノ手續ヲ經ルコトニナッテ居リマス、殊ニ又御承知ノ通リ朝鮮米ト朝鮮以外ノ外國ノ米トハ米ノ品質ノ上ニ於テ、一見シテ紛レルコトノナイ區別ガアルモノデアリマスカラ、全然外國米ヲバ朝鮮米ナリト稱シテ移入スルコトハ是ハ斷ジテナイト申シテ宜イト思ヒマスガ、唯朝鮮米ト外國米ト混合シテ來ル場合ニハ、其混合ノ分量ノ割合如何ニ依ッテハ、俄カニ混合シタルモノナルヤ否ヤノ區別ノ出來ヌ場合モナイトモ限リマセヌガ、今日ノ場合其事實ヲ見聞シテ居リマセヌノハ、詰リソレ等ノ事實ガ極メテ少ナイノデアルカ、或ハ無イノデアルカ、其處ハ何トモ申サレマセヌガ、未ダ何等弊害アリトハ考ヘテ居リマセヌ

○有森新吉君　米ニ付テ御尋致シタイ、ソレハ此世ノ中ニ食物獨立策トカ云フモノガ盛ンニ唱ヘラレマス、卽チ吾ミノ人口ガ增加スルニ從ッテ、土地ノ反別ハ增加ニナル、ソレカラ收穫ノ增加ヲ見ルカラ食物ノ獨立ガ出來ルトカ、日本ニ於テハ食物ノ獨立ハ行ハレベキデナイトカ、恰モ兵器ノ獨立ガドウデアルトカ、獨立獨立ト云フコトガ盛ンニ唱ヘラレテ居リマスガ、政府ハ何處マデモ軍器ノ獨立ト云フガ如ク、食物ノ獨立ニ付テモ同ジヤウナ御考ヲ有ッテ居ラレマスカ、ソレヲ伺ヒタイ、次ギニ米ニ對シテ今マデノ御說明デハ內地デ捗ヘマシタ產物ニ稅ヲ課スレバ出來ルト云フ御見込ガアッテ課ケテ居ルト思ヒマス、シテ見レバ米ノ稅ヲ御課ケニナッタラ日本人ガ要スルダケノ米ヲ日本ニ作リ得ルト云フ御考デアルカドウカ、サウ云フ邊ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員（菅原通敬君）　唯今御尋ニナリマシタ如キ問題ハ極メテ重大ナ問題デアリマシテ、大藏當局ト致シマシテヨリモ、農商務省ノ方ノ主管トシテ御聽取ヲ願ッタ方ガ宜カラウト思フノデゴザイマス、自分ノ意見ハ勿論無イコトハアリマセヌガ、是ハ御遠慮致シタ方ガ宜カラウト思ヒマス

○加賀卯之吉君　今此參考表ヲ戴イタ中ニ、大正元年デ一石ニ付テ七圓四十四錢トアリマスガ、是ハ間違デナイカト思ヒマスガ、如何デアリマスカ、ソレカラ此輸入稅ノコトハアナタノ方デモ說明ガ出來ルダラウト思ヒマスガ、米ノ輸入稅ヲ課セラレテサウシテ一圓ニナリ、四十錢ニナルト云フ風ニ變遷ガアリマス、此變遷ヲシタ場合ニ、日本ノ米ガ騰貴シタトカ、騰貴シナイト云フコトハアナタノ方デ御認メニナッテ居ルカ居ラヌカ、昨年菅原委員ハ御出ニナラナカッタガ私ハ當局ト談判ヲシタコトガアッタ、關稅ノ引下ゲラレタ場合ニハ日本ノ米ガ自然ニ廉クナリ、關稅ガ引上ゲラレタ場合ニハ日本ノ米ガ高クナルト云フコトハ、大藏當局者ハ認メテ居ルノデアラウカ、是ハ可否ヲ論ズル時ノ參考ニ大藏當局ノ責任アル意見ヲ聽イテ置キタイ

○政府委員（菅原通敬君）　此問題モ實ハ輕忽ニ論ズルコトノ出來ナイ問題デゴザイマシテ、各〻議論ノ岐ルル所デアリマス、所謂廢稅論者ガ之ヲ論ズル場合ト現行稅維持論者ガ之ヲ論ズル場合ト、同ジ事實ニ付テ如何樣ニモ論ジ方ノアル問題デアリマス、今輕々シク政府ハドウ見テ居ルカト云フコトヲバ申スコトハ甚ダ苦シムノデゴザイマス、ケレドモ事實ノ示ス所ニ依テ見マスト、木來米ノ價格ノ如キハ種々ナル原因ニ依テ動イテ來ルノデアリマシテ、申スマデモナク既ニ御承知ノコトデアリマスカラ、ソレ等ノ細目ニ付テ詳シク申ス必要モナイト思ヒマスガ、今ノ米ノ輸入稅ナルモノガ內地ノ米價ノ上ニ影響シテ居ルヤ否ヤ、若シ影響ヲシテ居ルト云フコトデアルナラバ、輸入稅ノ高低ニ從ッテ米價ガ動イテ居ルト云フコトニナラナケレバナラヌノデアリマスカラ、其點ヲ申上ゲタナラバ唯今ノ問題ノ解決ガ出來ルダラウト思フノデアリマス、ソレデ米ノ輸入稅ハ常ニ必ズシモトハ申シマセヌケレドモ、大體ニ於テ內地ノ米價ノ上ニ大ナル影響ヲシテ居ラヌト云フコトハ、數字ノ上カラ證明ガ出來ヤウト思ヒマス、餘リソレヲ詳シク申シマストイロ〳〵又御論ノ方ニ障リヲ生ズルコトニナル虞ガアリマスカラ、其邊ニ於テ止メテ置キタイト思ヒマス

○加賀卯之吉君　サウ云フコトヲ言フナラバ政府委員ニモ一ツ御尋シナケレバナラヌ、現ニ提案者ハ御聞ニナッテ居ルカ知レマセヌガ、昨年ノ關稅ノ撤廢者ノ岡崎久次郎君ハヤハリ今ノ政府委員ノ言ハレル如ク、餘リ影響ヲ持タヌト云フコトヲ主張シタ、ソレカラ本年ノ提案者ノ鈴木梅四郎君ハ確カニ影響スルト云テ居ラレル、私共ガ昨年調ベタ結

果ニ依ルト、直ニソレガ原因ヲ成シテ居ルト云フ斷言ハ出來ナイニシテモ、兎ニ角關稅ノ引上ゲマシタ時ニハヤハリ高クナッテ居ル、ソレカラ關稅ヲ引下ゲタ時ニハ廉クナッテ居ル、是ハ既往五箇年位ヲ調ベタ數字ノ上デ示シテ居ル、然ルニ政府委員ガサウ云フコトハ大シタ關係ヲ有ッテ居ラヌト云フ御論據デアルナラバ、隨分是ハ問題ダラウト思フ、如何ニモ米ノ價ト云フモノハ單純ニ唯關稅ガ高クナッタラ日本ノ米ガ高クナル、廉クナルト云フコトハ斷言ガ出來ナイトシテ、昨年ノ筆記ヲ御覽ニナルト分リマスガ、私共ハ數字ヲ調ベテ申上ゲタコトガアリマスガ、私ハ本年ノ提案者ノ云フ如ク影響スルモノト思ッテ居ル、若シソレガ影響シナイト云フコトデアレバ是ハ餘程考物デアルト思フ、尙モウ一應御意見ヲ伺ヒタイ

○政府委員（菅原通敬君）　米價ノ定マル各種ノ原因ハナカ〳〵一々之ヲ枚擧スルコトガ出來ナイノデアリマス、時恰モ關稅ノ引上ニナッタ時ニ、米價騰貴ノ傾向ニナッタト致シマシタ所デ、ソレガ直チニ關稅ヲ上ゲタタメノ結果デアルヤ否ヤト云フコトニナルト、必ズシモ直ニ左樣ニ斷ズルコトハ出來ナイデアラウ、故ニ關稅以外ニ米ノ價ニ影響スベキ所ノ各種ノ原因ヲ極メ、其方ノ力ガ強イノデアッタカ、或ハ關稅ヲ高メタ方ノ力ガ強イノデアッタカト云フコトデ、比較研究シテ見ナケレバナラヌコトニナラウト思フ、物ノ道理ノ方カラ致シマシテ外國カラ來ル所ノ品物ニ付テ全ク稅ノナカッタ場合ト、稅ノアル場合トニ於テ其品物ノ價格ニ影響アルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ論ズルマデモナイコトデアル、直接ニ之ヲ申セバ外國米ニ對シテハ少ナクトモソレダケ價格ニ影響ガアルト言ハナケレバナラヌ、併シソレガ內地ノ產米トノ關係ニ於テドウ云フヤウニナッテ來ルカト云フ問題ニナルノデアリマス、外國米ノ價格ガ騰貴スル、ソレニ付テ內地ノ米ニモ影響ヲ及ボス、少ナクモ內地ノ米ノ惡イモノニ對シテソレダケノ影響ガアルト云フコトヲ見テ行クト云フコトハ、是ハ物ノ數理ノ上カラ或點マデドウシテモ認メナケレバナラヌノデアル、唯關稅ヲ引下ゲタ引上ゲタト云フコトノ結果、ソレダケ直チニ日本ノ米價ノ上ニ影響ヲシテ來ルモノデナイ、ソレニハ各種ノ原因ガ加ハッテ居ルノデアリマスカラ、ソレニ依ッテノミノ影響ハ少ナイト云フコトヲ申シタ次第デアリマス、稅ノ有ル無イニ依テ直接外國米ノ價ニ影響ガアルカト云フコトハ、論議ヲ俟タズシテ明カナ事デアラウト思フ

○加賀卯之吉君　私共ノ知リ得ル限リニ於キマシテ五千万石日本デ穫レル米ノ中デ、商品トナッテ市場ニ現ハレテ來ル數量ハ、恐ラク一千万石ヲ超ヘルモノデハナイト信ジテ居ル、論底ニ於テ誤ガアレバ兎モ角モトシテ、是ハドウ云フ所カラ得タ材料デアルカト云フト、多クハ東京兵庫下ノ關、熊本、越中、新潟、北海道ノ小樽或ハ函館、サウ云フ主ナル正米ノ賣買サレル市場ニ於テ賣買シタル物、ソレカラ全國ノ四十二箇所ノ取引所ニ於テ賣買シタ物、サウ云フモノヲ商品ト見マスト少ナクテ七八百万石多クテ一千万石ヲ超ヘタコトハナイノデアリマス、數年間ノ統計ニ依テ見マスト――サウスルト大正元年度ノ外國米ノ輸入ハ二百二十万、大正二年度ハ三百六十万トシマスト、一千万石ノ商品ノ中ニ三百万、三百万ト云フ外國米ガ入ッテ來ルト云フコトハ、無稅ト有稅トニ依テ苟モ市價ニ影響ガアラザルヲ得ヌノデアル、極ク著シイ例ヲ申シマスト、昨年七月一日カラ朝鮮米ノ關稅撤廢ガ出來タ以來ハ、十月カラ十二月ノ三箇月ノ間ニ三十三万石ト云フ朝鮮米ガ入ッテ居ルノデアッテ、課稅當時ノ一箇年ノ平均ノ三十一万石ヨリモ二万石モ餘計ニ入ッテ居ル、サウスルト今御話ノ如クニ一千万石位ノ商品トシテ現レル中ニ、二百万ニ百万ノ物ガ無稅デ入ッテ來レバ他ノ米ノ價ニモ影響セザルヲ得ヌノデアル、況ヤ其統計ニ於テ影響シタモノガアルト云フ以上ハ、ドウシテモ有ルモノト見テ差支ナイト思フガ、尙多少影響ガアルト云フヨリ以上ニ御考ハ及バヌノデアリマセウカ

○政府委員（菅原通敬君）　御述ベニナリマシタ事ニ付テ彼此申スノデハアリマセヌガ、五千万石ノ僅ニ五分ノ一ナル千万石ガ商品トナッテ取引サレテ居ルノデアルカラ、日本ノ米ノ價ヲ支配スルモノハ其千万石デアル、其千万石ト外國カラ入ル二百万石カ二百万石トノ間ニ權衡ヲ見テ行カナケレバナラヌモノデアルカラ、外國米ニ關稅ヲ課シテ外國米ガ高クナルト云フコトニナレバ、其千万石ニモ大ナル影響ヲ來サナケレバナラヌノモノデアルト云フ御論ハ、直チニ私ハ首肯スルコトハ出來ヌヂヤナイカト思フノデアリマス、市場ニ現ハレル米ガ假リニ千万石ナリト致シマシタトコロガ、其千万石ノミニ依テ米ノ價ガ定マルモノデアルト御覽ニナルノハ、ドンナモノデアラウカト思ヒマス、成程市場ニ現ハレテ居ル米ハ千万石デアリマセウガ、五千万石ト云フ米ガ全國ニ現在シテ居ルノデアルカラ、外國米トノ權衡ヲ御覽ニナル場合ニハ千万石ヲ御引合ニナラズニ、五千万石ヲ御引合ニナルノガ相當デハナイカト思フ、成程外國米ガ課稅セラルヽトソレダケ價ガ高クナル、ソレガ內地ノ產米ノ上ニ今ノ影響ガ無イト云フコトハ勿論申サナイノデアリマスガ、私共ノ今マデ見テ居ルトコロニ依ルト、內地ノ米相場ト云フモノハ、主トシテ內地ノ米作ノ豐凶ニ依テ定マルノデアリマシテ、外米ノ相場ト云フモノハドウモ餘リ密接ナル關係ハ持ッテ居ラヌヤウニ見エルノデアリマス、私ガサウ申スト外米ニ課稅スルタメニ內地ノ米價ニ關係セヌト云フコトデアルナラバ、ソレハ關稅撤廢ノ論ニナルト云フヤウニ御聽取ニナルカ知ラヌガ、ソレハ決シテサウデハナイノデアリマシテ、私共ノ關稅ヲ現狀ニ置カナケレバナラヌト云フコトハ別ニ論ガアルノデアリマス、必シモ內地ノ米價ニソレガ關係ガアルカラ必要デアル、關係ガナイカラ不必要デアルト云フ論ニハナラヌ、勿論內地ノ農業ヲ保護スルト云フ上カラ御論ジニナル人ミハ、關稅ノ作用ニ依テ內地ノ米價ニ影響ガ多イノデアル、其米價ニ影響ガ多イト云フコトハ卽チ農民ノ利益デアルカラ、農業ヲ保護スルニハ是非サウシナケレバナラヌト云フ論ニ歸著スルノデアリマセウガ、ソレハ一ツノ理窟デアルカラ私ハソレニ付テハ何トモ申サヌガ、ソレ程農業者ニ對シテ厚ク保護ニナルト言ハナクテモ、關稅ノ維持ト云フ論ハ十分立テ得ラレルデアラウト思ッテ居ル、ソレデ外國米ノ相場ニ依テ內地ノ米價ト云フモノガ常ニ支配セラレテ居ルト云フヤウナコトハナイト云フコトハ、是ハ幾多ノ此處ニ持ッテ居ルトコロノ材料ニ依テ申上ゲルコトガ出來ルノデアルガ、併ナガラソレモ同ジ材料デアルニ致シマシタトコロガ、論ノ立方ニ依ルト如何ニモソレハ利益アル場合ニソレヲ引用スルコトモ出來レバ、不利益ノ場合ニソレヲ引用スルコトモ出來テ、是ハ銘々人ミノ考ヘル所ニ依テ定マルノデアリマスカラ、御銘々ノ御意見ニナルト云フコトニ歸著スルデアラウト思ヒマスガ、ドウモ私共ノ見ル所デハ內地ノ米價ト云フモノハ外米ノ相場トハ餘リ關係ヲ持タズニ定マッテ居ルモノデアル、米ノ種類モ違フ、需要者ノ範圍モ違フ、ソレ等ノ點カラシテ全ク關係ガナイトハ勿論申シマセヌガ、關稅ノ作用ノタメニ內地ノ米價ガ常ニ動イテ居ルノダト云フコトヲ申ス譯ニハ行カヌヤウデアリマス、是ハ勿論場合ニモ依ルノデゴザイマセウ、例ヘバ大ニ內地ガ豐作デアルト云フ場合、內地ガ大ニ凶作デアルト云フ場

合、サウ云フ場合ニ於テノ外米ノ作用ガ其所デ及ブト云フコトハ或ハナイトモ言ヘヌガ、私ノ申スノハ平常ノ場合ニ、内地ノ米價ト云フモノハ、左程ニ外米ノ相場ニ依テ動カサレテ居ルモノデナイト云フコトヲ申スノハ、餘リ過言デハナカラウカト思ヒマス

○加賀卯之吉君　今ノ政府委員ノ米ノ影響以外ニ關稅ニ影響ガアルカ、ドウ云フ所ニアルカ、其所見ヲ一ツ伺ヒテ見タイ

○政府委員（菅原通敬君）　ソレハアラウト思ヒマス、今ノ關稅ナルモノハ御承知ノ通リ内地産業保護ト云フコトガ一ノ目的ヲナシテ居ルガ、同時ニ收入ノ目的ヲ持ッテ居リマスカラ、少ナクトモ收稅ノ目的ハ内地ノ産業保護ト對立シテ關稅率ヲ定ムル方針ニナッテ居リマス、ソレデ米輸入稅ト云フモノハ、昨年ノ如キ九百万圓位ニ達シテ居ルノデアリマスガ、本年ノ如キモ必ズシモ豫算ニ定メテアル所ノ二百六十万圓ニハ止マルマイト思ヒマス、モット多クナルト思ヒマス、是等ハ卽チ如何ニ内地産業ノ保護ノ上カラハドウナリマシタ所ガ、ヤハリ米ノ輸入稅ハ其收稅ノ主義ノ上カラ直チニ廢止スルコトハイカヌト云フコトハ論ヲ待タヌノデアリマス

○加賀卯之吉君　此機會ニモウ一ツ伺ッテ置キタイト思ヒマス、此收穫表ハ元年マデシカアリマセヌガ、大正二年モ出來タラウト思ヒマス、此數字ノ示ス如ク四十三年ハ四千六百万石、四十四年ハ五千百万石、大正元年ハ五千何万石、本年モ亦五千万石以上デアルニモ拘ラズ、米ノ値段ハ段々下ッテ來ル、收穫ガ減ジテ供給力ガ殖エルナラバ、必ズ價ガ高クナルト云フコトハ申スマデモナイ、所ガソレガ却テ逆ニ收穫ガ減ジナガラモ尚且ッ市價ガ下ッテ來ルト云フ奇妙奇的列ナモノハ米ノ價ナルノデアリマス、ソコデ今ノ御話ハサウ云フヤウニ見ルトト云フコトデアルガ、此所ハ非常ニ撤廢論者ノ一ツノ根據トナル所デアルカラ、餘程能ク聞カナケレバナラヌガ、私共モサウ云フコトデアルナラバ考ヲ變ヘナケレバナラヌ、サウシテ此結果タルヤ、四十三年ヨリモ米ノ價ハ段々下ッテ安クナッテ居ル、供給力カ少クナッテ安クナル、經濟上ソンナ理窟ハナイ筈ダカ、何故ニサウ云フ理窟ニナッテ來タカ、主ナルモノハ朝鮮ノ關稅ヲ取ッタ結果デス其他ニモ種々ナル原因ハアリマセウガ、兎ニ角關稅ト云フモノガ朝鮮ニ無クナッタガタメニ、一年中ニ入ッテ來タモノヽ中デ僅カニ二ケ月三ケ月ニ澤山輸入ヲ增シテ來タ結果デアラウト信ジテ疑ハナイ、米ノ下ッタコトハ、ソレデナケレバ供給力ガ減ッテ米ノ價ノ安クナル筈ハナイ、之ヲ以テ私共ガ考ヘテ見ルト其主ナル原因ハ朝鮮ノ輸入ト云フコトヽ、モウ一ツハ日本ノ需要ガ餘リ減ッタンデス、ドウ云フ所デ減ッタカト云フト定期市場デ受渡シスル米ガ全ク無クナッテシマッテ居ル、定期市場デ日本米ノ受渡シガ無クナッテカラ、日本米ハ驅逐セラレテシマッタ、昨年ノ臺灣米トガ定期ニ代用セラルヽヤウニナッテカラ、日本米ハ驅逐セラレテシマッタ、昨年ノ五月以來日本米ノ定期受渡シハナクナッテシマッタ、斯ウ云フコトデ朝鮮米ノ輸入ハ殖エ、日本米ノ產額ハ減ッタケレドモ尚且安クナッタト云フコトニナル、此事實ヲ以テシモ尚且關稅ヲ全然廢メラレル日ニハドウシテモ安カラザルヲ得ヌ、ソレヲ影響ガナイヤウニ見エルト云フノハ少シ薄弱ナ議論デス、此大問題ヲ決定スルニハ、當局ノ意見トシテハ頗ル不安ニ堪ヘナイ、ソレナラバ我輩ハ考ヲ變ヘナケレバナラヌ

○政府委員（菅原通敬君）　今御尋ニナリマシタコトハ、四十三年ニハ四千六百万石、四十四年ニハ五千百万石、大正元年ニハ五千万石、斯樣ニナッテ居ルニモ拘ラズ、米ノ相場ハ追ヽ安クナッテ居ル、斯ウ云フ御尋デアッタヤウデアルガ、其表ノ下ニ東京ノ相場ト大阪ノ相場ト書イテアリマスガ、ソレヲ見ルト云フト四十三年ヨリモ四十四年ノ方ガ高クナッテ居ル、四十四年ヨリモ大正元年ノ方ガ高クナッテ居ル、此値段ハ御話トハ却テ逆ニナッテ居リマス

○加賀卯之吉君　是ハ一年中平均相場デス、二十五圓、二十六圓、二十七圓シテ居ル時モアリマス、ソレカラ關稅ガ取ラレヌヤウニナッテカラズット下ッテ居ル、是ハ一年中ノ平均デス

○政府委員（菅原通敬君）　米價ノ下ッタノハ關稅ノコトガ一因デアッタカドウカ、四十錢ニナッタノハ大正元年ノ十月デスネ――サウデス、是ハ大正デハアリマセヌ、四十五年ノ五月カラ大正元年十月マデ四十錢デ、大正元年十一月カラ一圓ニナッテ居ル、ソレカラ米ノ相場ヲ御覽ニナルニハ或ル時々ノモノヲ見ルト云フノモ一ノ方法カ知ラヌガ、一年ヲ通ジテ其平均ヲ見ルノガ正當ト思フ、四十三年カラ四十四年トカ、四十四年カラ大正元年トカ云フコトヲ見ルニ、ヤハリ平均カラ御覽ニナラナケレバナラヌカト思フ、此表ニ依ルト唯今ノ御話ニ反對シテ、却テ米價ハ上ッテ居ルノデス

○加賀卯之吉君　併シ其反對ノ理由トシテ四十二年ノ下半期カラ四十三年ノ上半期ハ米價ガ非常ニ安クナッテ居ル、其時ノ關稅ハ六十錢、ソレカラ四十四年ノ七月カラ一圓ニナッテ居ル、其當時ハ米ハ高イ、是ハ僅カノ日數デアッタガ、其後十月一日カラ又米ガ高クナッテ居ッテ、唯今ノ御說ニ反對ノ理由ガ直グ出テ來ルノデス

○政府委員（菅原通敬君）　ソレデハモウ一遍繰返シテ申シマス、米ノ輸入稅ガ一圓デアリマシタノハ、前ノ方ハ姑ク措イテ四十五年ノ五月マデ一圓デアッタ、ソレカラ四十五年ノ五月カラ十一月マデ四十錢、ソレカラ十一月カラ一圓ト云フモノニ反ッテ居ル、ソレデ假リニ東京ノ武藏中米ノ一石建ノ相場ヲ見マスト云フト、四十四年ノ四月卽チ未ダ稅金ガ一圓ニナラナイ時ノ相場ガ十七圓二十錢……

○加賀卯之吉君　チョット四十四年ノ七月カラ一圓デ、其前ハ六十四錢デハアリマセヌカ

○政府委員（菅原通敬君）　チョット惡ルウゴザイマシタ、四十四年ノ十月カラノコトヲ申サナケレバナラヌ、四十四年ノ十月カラ關稅ガ一圓ニナッタ、此一圓ニナル前ノ月ノ九月ニ於ケル米價ガ幾ラカト云フト十九圓六十一錢、其前ノ八月ガ十九圓六十二錢、餘リ違ヒハアリマセヌ、トコロデ關稅ガ一圓ニナッタ後ノ十月ハドウカト云フト十八圓二十七錢デ、下ッテ居ル、ソレカラ十一月ニナルト更ニ下ッテ十六圓六十二錢ト云フモノニナッテ居ル、ソレカラ十二月ガ又十六圓六十三錢デアル、是ハ何レ米ノ市場ニ現ハレル季節ニ段々近クナッテ行ッタガタメニ、米價ガ下落シタノデアルト云フヤウナコトヲ以テ論ゼラルヽニ違ヒナイガ、勿論ソレガ大ナル理由ト思フ、併ナガラ其間ニ於テ六十四錢ノ關稅ガ一圓ニナッタタメニ、其米價ニ影響ヲ及シタト云フコトハドウモ見ルコトガ出來ヌデハナイカ、十九圓六十錢ノモノガ十六圓六十錢ニ下ッテ、殆ド三圓モ下ッテ居ル、其三圓モ下ルト云フ中ニハイロ〳〵ノ原因モアリマセウ、今申シタ米ノ市場ニ現ハレル季節ニ段々近イト云フコトガ其主ナル原因デアルト思フ、從テ關稅引上ノ結果ハ、其方ニ吸收サレテ何等ノ見ルベキモノガ無カッタト云フコトモアリマセウガ、兎モ角關稅ノ引上ノタメニ米

價ヲ騰貴セシメザルハ勿論、他ノ原因ニ依ル米價ノ下落ヲ多少ニテモ喰止メルト云フ力モナカッタヤウデアル、ソレカラ更ニ四十五年ノ五月ニ於テ米ノ輸入稅ガ四十錢ニ下ッタ、其時ノコトヲ見ルト輸入稅ガ一圓ノモノガ四十錢ニ下ッタニ拘ラズ、其五月ニ於テ二十圓六十五錢ノモノガ六月ニハ二十一圓七十二錢トナリ、斯ウ云フヤウニ却テ輸入稅ヲ下ゲタ時ガ米ガ上ッテ居ル、是ハ米價ノ上ルベキ力ガ強クシテ、輸入稅ノ引下ガ何等ノ効果ヲ有タナカッタト云フ事柄ヲ證明シテ居ルノデアラウト思フ

○加賀卯之吉君　チヨットサウ云フ時分ノ日本米ノ價ト外國米ノ價ノ統計ガアリマスカ、日本米ガ斯ウデアッタガ外國米ハ斯ウデアルト云フ……

○政府委員（菅原通敬君）　外國米ノコトヲ御覽ニ入レマセウ、今ノ四十四年ノ十月ト云フモノハ五圓六十三錢、十一月ニナッテ五圓五十三錢、十二月ニナッテ五圓九十三錢、ソレカラ四十五年ノ五月カラノトコロハ、是ガ能ク關稅ノタメニ外國米ノ價ノ上ッタコトヲ現ハシテ居リマス——逆デ、關稅ガ下ッテ居ルニ拘ラズ外國米ガ上ッテ居リマス、五月ニハ六圓八十錢、六月ニハ七圓二十錢、七月ニハ八圓四錢、斯ウ云フヤウニ上ルベキ理由ガアルニ拘ラズ却テ下ガル、下ガルベキ理由ガアルニ拘ラズ上ガル、斯ウ云フヤウナ變調子ニナッテ居リマスカラ、ドウモ關稅ノ上ゲ下ゲト云フモノガ直ニ內地ノ米價ニ影響ヲ及ボスト云フコトヲ言ハレナイヤウデアリマス、ケレドモ大體ニ於テ論ジタナラバ、保護ノ結果ハ必ズ無ケレバナラヌモノダラウト思ハレルノデアリマス

○加賀卯之吉君　外國米八圓ト云フ御話ガアリマシタガ、サウ云フノガアリマスカ

○政府委員（菅原通敬君）　アリマス

○加賀卯之吉君　小賣相場デスカ

○政府委員（菅原通敬君）　橫濱商業會議所月報ニ掲ゲテアル　橫濱港外國米卸値平均相場表デス

○木村艮君　大分關稅ヲ引下ゲマシテモ値段ノ上ッテ居ルコトモ確ニアルノデス、其際ニ大藏當局ハ上ッタ結果ハ緩和シタカラソレデ濟ンダノデアル、若シ引下ゲナカッタラ何處マデ往ッタカ分ラヌト云フヤウナ說明モアッタノデス、サレバ其結果ガドレダケ米價ニ影響スルカト云フコトハ、要スルニドチラノ議論ニモナルト思フ、ナルトシテモドレ位アルカト云フコトハ誰デモ說明ガ出來ナイト思フ、表ニ據テ見マシテモ米價ハ單純ニ關稅ダケデ高低スルモノナラバ論定ガ出來マスケレドモ、各種ノ原因ガ綜合シテ米價ヲ拵エルノデアリマスカラ、ドチラニモ論據ニナラウト思ヒマス、單ニ輸入稅ノ高低ノ表ト外國米若クハ內地米ノ月別表位ヲ並ベテ見テ、影響ガアルカナイカト言フテモ仕方ガナイト思ヒマス、ソレデ私ハ方面ヲ換ヘテ御質問シタイト思ヒマスガ、內地ノ農民ガ自分ノ生產シタ米ニ稅ハ掛ッテ居リマセヌケレドモ、農業者ノ負擔シテ居ルモノハヤハリ米ノ負擔ト見テ差支ナカラウト思ヒマス、然ルニ玆ニ無稅ノ米ガ出テ參リマシテ、大ナル負擔ヲ受ケテ居ル內地ノ米ト、無稅ノ米ト競爭サセルト云フコトハ、農業保護ノ上ノミナラズ、理窟ニモ合ハヌコトノヤウニ思ハレマス、一體日本ノ農民ガ國家ノタメニ負擔シテ居ル額ハ概數デ宜シウゴザイマスガ、ドレ位ノモノデアリマスカ、承テ見タイノデアリマス

○政府委員（菅原通敬君）　頗ルムヅカシイ御質問デアリマシテ、農民トシテノ負擔幾何ナルヤ、所謂農民ナルモノガ又如何ナルモノデアルカト云フコトハ實ハ困ルノデアリマシテ、所謂農民ノ負擔シテ居ル額ヲ積算スルコトハ極メテ困難デアリマス、曾テ大藏省ニ於テ農業者ト商工業者トガ國稅ヲ負擔シテ居ル割合ヲ調ベタコトガアリマス、ソレニ據テハ日本全國ノ農民ガドレホド負擔シテ居ルカト云フコトヲ申上ゲルコトハ出來マセヌガ、商工業者ニ對スル割合ダケヲ調ベタノデアリマス、是ハ三十九年カ四十年ノ調ベデアリマス、又其後大分稅法ニモ改廢ガアリマシタシ、一方ニハ地租ガ輕減ニナリ、同時ニ營業稅所得稅モ輕減ニナリマシタノデ、多少異動ハアリマスガ、其割合ハ農業者ノ負擔ハ商工業者ノ負擔ノ約倍額ニ達シテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、——收益百圓ニ付テ一方ハ何デモ二十四、一方ハ十四トカ云フ割合ニナッテ居ルヤウデアリマス、詳シイ數字ニ付テハ機會ガアッタラ御覽ニ入レルコトニ致シマス

○加賀卯之吉君　先刻政府委員ノ言ハレタノハ、四十五年デスカ

○政府委員（菅原通敬君）　四十四年ノ分ト四十五年ノ分トヲ申上ゲマシタ、四十四年ノ分ハ十月カラ申シマシタ、四十五年ノ分ハ五月カラ申シマシタ

○加賀卯之吉君　廉クナッテ居ルト云フ御話デシタネ

○政府委員（菅原通敬君）　サウデス

○加賀卯之吉君　四十四年七月二十八日カラ九月三十日マデニ六十四錢ニ低廉ニナッタコトガアッタ、其時ニ米ハ段々下ッテ居ル——十月カラ下ッテ來テ居ルノデスナ

○政府委員（菅原通敬君）　左樣デアリマス

○加賀卯之吉君　四十五年ノ場合ハ一月二十七圓、ソレカラ十九圓、二十二圓四十錢——二十二圓四十錢カラ下ッテ居リマスネ、二十一圓ニナリ、二十圓ニナリ、十八圓九十錢ニ下ッテ居リマスナ

○政府委員（菅原通敬君）　或ハ私ノ申シタノハ正米相場デアリマスガ、アナタノハ定期デハアリマセヌカ

○加賀卯之吉君　正米デス、深川ノ平均値段ガ書イテアル

○委員長（板東勘五郎君）　表ノ突合セハ速記ヲ止メテヤッタガ宜カラウト思ヒマス、ソレデハ聞ク者モ分ラヌヤウニ思フ——サウスルト他ニ御質問ハアリマセヌカ——ソレデハチヨット私カラ御尋致シマス、四十二年ニ關稅法ヲ布イテ以來關稅ノ收入ニ對スル豫定ノ結果、竝ニ產業保護ノ成績等ニ付テ概要ノ御說明ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス、ソレハ先日大藏大臣ガ議會ニ於テ御辯明ニナリマシタノハ、關稅ヲ改正スル箇條ニ付テ專ラ申サレタガ、關稅制定後今日マデノ大勢ト云フコトノ概括ニ付テノ御說明ガ無カッタヤウデアリマスガ、大體ソレヲ承ルコトガ出來ルナラバ質問ノ跋トシテ承リタイト思ヒマス

○政府委員（菅原通敬君）　今ノ二ツノ御問ノ後段ノ方ノ問題ハ、能ク實際ノ內地ノ工業ノ發達ノ事實ヲ擧ゲテ申上ゲネバナラヌノデ、餘程說明ガ困難デアルト思ヒマスガ、今ソレ等ノ書類ヲ持參致シマセヌノデ詳細ニ申上ゲルコトハムヅカシイノデアリマス、ソレカラ第一ノ方ノ四十二年ニ關稅率ヲ改正致シマス當時ニ於テハ、丁度既定ノ收入ニ對シテ約千五百万圓位ノ增收ヲ見ルダラウト云フ考デアッタノデアリマス、其後御承知ノ通リ、英、佛、獨等ノ間ニ協定稅率ヲ結ビマシタタメニ、多少ノ收入ヲ減ズモノモアッタノデアリマス、ケレドモ千五百万圓ト云フ最初ノ豫定ハ後ニ實施致シマシタ結果ニ就テ見ルト、明カニ擧ゲ得テ居ルヤウデアリマス、ソレハ御承知ノ通リ、爾來每年輸入貿易ノ有

樣ガイロ〳〵變ッテ居リマスカラ、最近ノ事實ヲ以テドウデアルト云フヤウナコトヲ申スコトハ寧ロ當ヲヌコトニナリマスガ、今私ノ申シマシタノハ四十三四年アタリノ施行ノ結果ニ就テ、舊稅率デアッタナラバドレダケ取レタデアラウ、新稅率ニ依ッテ取ッタモノトノ間ノ比較ハドウカト云フコトニ依ッテ計算シマシタノガ、千五百万圓バカリノ增收ヲ得ルコトニナッテ居リマス

○加賀卯之吉君　最後ニ伺ッテ置キマス、米及籾ノ輸入稅ノ撤廢ト云フコトニ付テ、政府ハドウ云フ所見ヲ持ッテ居ルカト云フコトヲ御尋シタ結局ガ、政府ノ御答辯ハ內地ノ米價ニ的確ニ影響スルモノデナイカノ如ク窺ハレルノデアリマス、ソレハ餘程確メテ置カナケレバナラヌト思ヒマス、尙ホ政府委員カラ——勝田次官カラハッキリト御答ヲ得テ置キタイ、政府ハ關稅撤廢ト云フコトニ付テ內地ノ米價ニドウ云フ影響ヲ與フルヤ否ヤト云フコト、ソレカラ結局デハ關稅撤廢ト云フコトニ付テ、之ヲ決議シタナラバ政府ハ御同意ニナルヤ否ヤト云フコトヲ聞イテ置キタイ

○政府委員（勝田主計君）　唯今ノ御問ニ對シテハ他ノ政府委員ヨリ既ニ數字ヲ以テ說明ヲシテ居ルコトデアラウト思ヒマスカラ、關稅撤廢ト云フコトニ付テ米價ニドウ云ウ影響ヲ及ボスカト云フコトニ付テハ是ハ、先ヅ達觀上ノ御話ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、或場合ニ於キマシテハ多少影響ヲ持ツト云フコトモアルカモ知レマセヌガ、今日マデノ既往ノ經驗ニ依ッテ、或ハ關稅ヲ御承知ノ通リ高低致シマシタコトガ屢〻ゴザイマスルガ、是ガ米價ニ多大ノ影響ヲ及ボスカト申シマスルト、或ル場合ニハ多少是ガ響クト云フヤウナコトモ見エマスルケレドモ、達觀上カラ申シマスルト、大體サウ是ガ內地ノ米價ニ影響ヲ及ボスト云フコトハナイヤウニ政府ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ關稅撤廢ト云フコトニ付キマシテ、若シ決議ヲスレバ政府ハ同意スルヤ否ヤト云フ結局ノ御尋デアリマスガ、此關稅ノ撤廢ト云フコトニ付テハ第一ニ財政上ノ理由、第二ニ又此關稅ヲ撤廢スルト云フコトノ其利害如何ト云フ實質ノ問題ニ付テ論ジナケレバナラヌノデアリマスガ、既ニ是モ皆樣ノ間ニ御話合ニナッテ居ルコトデ、諄クシクハ申シマセヌガ、要シマスルニ今日ノ政府ノ財政計畫ノ上カラ致シマシテハ、此關稅ノ撤廢ヲ致スト云フコトハ頗ル困難ニ感ジマスル、ソレカラ又此關稅其モノガ達觀上內地ノ米價ニ多大ナル影響ヲ及ボサヌト云フコトデアリマスルト、其モノ、性質カラ致シマシテ、之ヲ撤廢スルト云フコトニ政府ハ贊成ヲスルト云フコトハ、容易ニ致サレマイト斯ウ思フテ居リマス、併ナガラ此事ニ付テハ勿論此周圍ノ經濟事情、或ハ財政ノ事情等ニ依ッテ變ルコトデアリマスルカラシテ、常ニ政府ハ注意ヲ致シテ、是等ノ事ハ念頭ニ置キマシテ研究ヲ致シテ居ルト云フコトハ、是ハ無論ノ話デアリマスルガ、唯今ノ御問ニ對シマシテハ政府ガ之ニ直チニ贊成ヲスルト云フコトハ出來ナイト云フコトダケヲ表明致シテ置キマス

○委員長（板東勘五郎君）　ソレデハ今日ハ是デ止メマシテ、討論ノ日ハ又別ニ定メマシテ公報デ御通知致シマス

午後三時三十二分散會

大正三年三月六日印刷　大正三年三月六日發行　衆議院事務局　印刷者　印刷局